

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
2024年5月21日	
大阪府知事 殿	
提出者 住 所 大阪府淀川区西中島4丁目1番1号 日清食品ホールディングス大阪本社ビル5階 氏 名 株式会社ニッキーフーズ 代表取締役 社長 上和田 公彦 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 072-463-8111	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社ニッキーフーズ 泉佐野工場
事業場の所在地	大阪府泉佐野市住吉町28番地13
計画期間	2024年4月1日から2025年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	食料品製造業
②事業の規模	売上高：¥3,115,773,000-
③従業員数	157名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	■動植物性残渣 生産ロス→収集運搬→乾燥→堆肥化 ■有機性汚泥 工場排水→排水処理施設→脱水→収集運搬→乾燥→堆肥化 ■廃プラスチック類（包装資材） 商品廃盤・リニューアル→収集運搬→破碎→減容固化→固形燃料化 ■廃プラスチック類（備品・パレット等） 備品破損→収集運搬→破碎→焼却→セメント燃料化

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
	(管理体制図) 別紙1参照		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	有機性汚泥
	排出量	250.97 t	2458.5 t
	(これまでに実施した取組)		
	■動植物性残渣 生産トラブル削減に向けた、設備メンテナンス計画の実施 ■有機性汚泥 オーバーフロー水の循環による、工場排水量の抑制 ■乾電池 充電電池への置き換え ■蛍光灯 LED電球への置き換え		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	有機性汚泥
	排出量	350 t	3150 t
	(今後実施する予定の取組)		
	■動植物性残渣 生産トラブル削減に向けた、設備メンテナンス計画の実施 ■有機性汚泥 オーバーフロー水の循環による、工場排水量の抑制 ※2024年度新ライン増設予定により産業廃棄物発生量増加が見込まれる		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 保管場所を分けて分別実施		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 保管場所を分けて分別実施		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
【前年度（2023年度）実績】			
廃プラスチック類	—	—	—
6.02 t	— t	— t	— t
【目標】			
廃プラスチック類	蛍光灯	乾電池	—
10 t	0.05 t	0.03 t	— t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	有機性汚泥
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	－ t	－ t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	有機性汚泥
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	－ t	－ t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	有機性汚泥
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	－ t	－ t
	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	－ t	2130.7 t
	(これまでに実施した取組) 脱水汚泥機で脱水を実施		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	有機性汚泥
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	－ t	－ t
	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	－ t	2730 t
	(これまでに実施した取組) 脱水汚泥機で脱水を実施 ※2024年度新ライン増設予定により産業廃棄物発生量増加が見込まれる		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
【前年度（2023年度）実績】			
廃プラスチック類	—	—	—
— t	— t	— t	— t
【目標】			
廃プラスチック類	蛍光灯	乾電池	—
— t	— t	— t	— t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
【前年度（2023年度）実績】			
廃プラスチック類	—	—	—
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t
【目標】			
廃プラスチック類	蛍光灯	乾電池	—
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	有機性汚泥
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	－ t	－ t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	有機性汚泥
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	－ t	－ t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

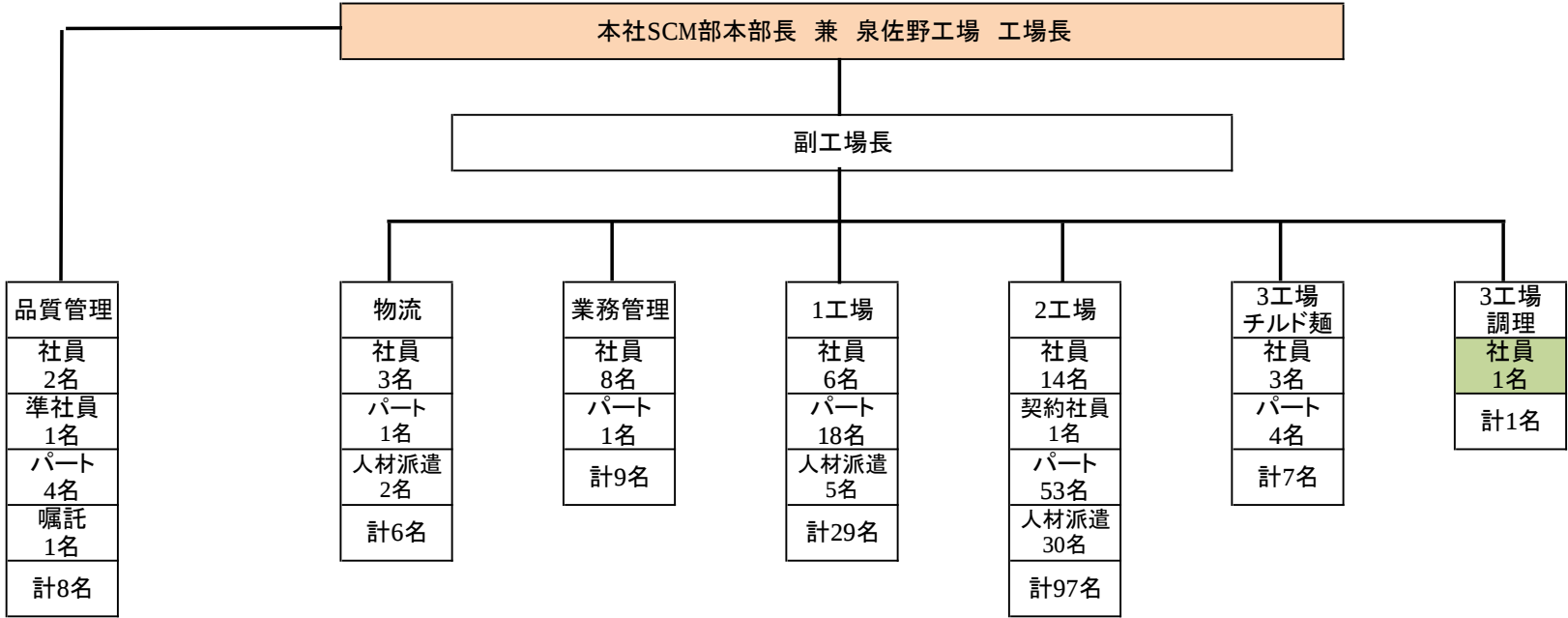
①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	有機性汚泥
	全処理委託量	250.97 t	327.8 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	250.97 t	327.8 t
	再生利用業者への 処理委託量	250.97 t	327.8 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	－ t	－ t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	－ t	－ t
	(これまでに実施した取組) 可能な限り再生利用を行い、優良認定業者へ処理委託を行った。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
【前年度（2023年度）実績】			
廃プラスチック類	—	—	—
— t	— t	— t	— t
【目標】			
廃プラスチック類	蛍光灯	乾電池	—
— t	— t	— t	— t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
【前年度（2023年度）実績】			
廃プラスチック類	—	—	—
6.02 t	— t	— t	— t
1.25 t	— t	— t	— t
4.77 t	— t	— t	— t
1.25 t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残渣	有機性汚泥
	全 処 理 委 託 量	350 t	420 t
	優良認定処理業者への処理委託量	350 t	420 t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	350 t	420 t
	認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	－ t	－ t
	(今後実施する予定の取組) 可能な限り再生利用を行い、優良認定処理業者へ委託を行う。 ※2024年度新ライン増設予定により産業廃棄物発生量増加が見込まれる		
※事務処理欄			

【目標】			
廃プラスチック類	蛍光灯	乾電池	—
10 t	0.05 t	0.03 t	— t
5 t	0.05 t	0.03 t	— t
5 t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t



工場長	産業廃棄物管理責任者
課長	産業廃棄物管理担当者(産業廃棄物保管・排出手続き・マニフェスト管理)